

書家 石川九楊の全書業を一堂に 大規模・連続・展覧会
「石川九楊大全」、6月8日(土)上野の森美術館で開幕
～選びぬかれた300点の作品を2つの展覧会で展示、音楽会・講演会により「新知見」を展開～

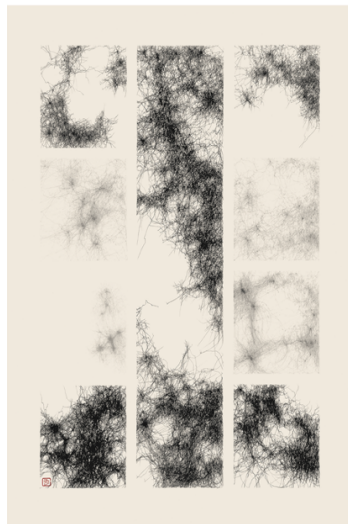
2024年4月9日
石川九楊大全実行委員会

書家・石川九楊(いしかわ・きゅうよう)の大規模展覧会「石川九楊大全」が、2024年6月8日(土)より7月28日(日)まで、東京・上野の森美術館で開催されます。

*会期 前期:2024年6月8日(土)～6月30日(日) 後期:2024年7月3日(水)～7月28日(日)
休館日:展示替えのため、7月1日(月)、7月2日(火)

現代における書の美をひたすら追究し、言葉と格闘し続けてきた石川九楊の書作品2,000点から厳選した300点余を、前期・後期ひと月ごとに全て掛け替える大規模連続展覧会として、2ヶ月にわたり公開します。

「石川九楊大全」前期
【古典篇】遠くまで行くだ
6月8日(土)～6月30日(日)



石川九楊 「遠くまで行くだ」(1993年) 95×62cm

「石川九楊大全」後期
【状況篇】言葉は雨のようにふりそそいだ
7月3日(水)～7月28日(日)



石川九楊 「言葉は雨のようにふりそそいだ」(2023年) 95×60cm

また以下「石川九楊大全」関連イベントを開催します。

【音楽会】2024年6月14日(金)18:00 開演(会場:旧東京音楽学校奏楽堂)
「書は音楽である」を立証するために企画されたコンサートです。書の美を形成する「筆触(ひっしょく)」を計測・解析・データ化した楽曲とした2曲を「電子音楽奏」と「弦楽四重奏」により演奏します。

【講演会】2024年7月7日(日)18:00 開演(会場:上野精養軒 桜の間)
「書は文学」である——「筆触論」の総仕上げと位置付けられた自著『悪筆論』(芸術新聞社)を引用。川端康成、太宰治、三島由紀夫などの揮毫や原稿の書きぶりが、その文学作品をいかに雄弁に物語るか。秘密を解き明かします。

更に「石川九楊大全」展の開催にあたり、全作品を収録したカタログレゾネ(『石川九楊全作品集』思文閣出版)が完成、2024年夏より販売を開始します。既刊の『石川九楊著作集』全12巻(ミネルヴァ書房)に加えて、石川九楊全作品・全著作が網羅され、前期・後期の異なる2つの大規模展示とともに、総合的に石川九楊の書業をご覧いただける場となります。

皆様のご来場をお待ちしております。

■このリリースに関するお問い合わせ先:

石川九楊実行委員会 加藤・小堀 contact@ishikawakyuyoh-taizen.com

【資料 1】

■石川九楊(いしかわ・きゅうよう)プロフィール

書家。1945 年福井県生まれ。京都大学法学部卒業。京都精華大学教授、文字文明研究所所長を経て、現在、京都精華大学名誉教授。「書は筆蝕の芸術である」ことを解き明かし、書の構造と歴史を読み解く。評論家としても活躍し、日本語論、日本文化論は各界にも大きな影響を与える。

作品制作・執筆活動、いずれの分野でも最前線の表現と論考を続け、現在までに書作品 2,000 点以上、著書 100 点以上を世に送り出した。

■「石川九楊大全」展覧会概要

会場:上野の森美術館 〒110-0007 東京都台東区上野公園 1-2

石川九楊大全 前期【古典篇】 遠くまで行くんだ

会期:2024 年 6 月 8 日(土)～6 月 30 日(日)

既成の書的情緒を否定・拒絶してきた九楊が、なぜ古典文学に挑んだのか——。九楊にとって古典への挑戦は新たな領域への序章でもありました。代表作「歎異抄」「源氏物語」はじめ「李賀詩」「徒然草」「方丈記」「良寛詩」など日本・中国の古典文学を題材に、新たな表現の地平に挑んだ、壮大な「書の宇宙」を体感ください。

前期【古典篇】の主な展示作品

- 「李賀詩 感諷(かんぷう)五首」連作 5 点 1992 年、360×192cm
- 「源氏物語五十五帖」55 点 2008 年、59×99cm
- 「萬葉歌」2010 年、60×95cm
- 「徒然草 No.22」1993 年、95×62cm
- 「方丈記 No.7」1988 年、31×51cm
- 「正信偈(しょうしんげ)」2019 年、60×95cm」2019 年、60×95cm

*主な前期【古典篇】展示作品画像と説明は、「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/classic/> をご覧ください

石川九楊大全 後期【状況篇】 言葉は雨のように降りそそいだ

会期:2024 年 7 月 3 日(水)～7 月 28 日(日)

書は「文字を書くのではなく、言葉を書く表現」である、と九楊は言います。聖書の言葉を題材にした若き日の代表作「エロイ・エロイ・ラマ・サバクタニ」およびその続編である 85m におよぶ超大作「エロイエロイラマサバクタニ又は死篇」や日本の現代詩、そして「忘れ去られた俳人」河東碧梧桐の句、さらには現代社会の混沌と病理をえぐる最新の自作詩など、九楊にとって不変のテーマである「言葉の表現」としての作品群を一挙に公開します。

後期【状況篇】の主な展示作品

- 「エロイ・エロイ・ラマ・サバクタニ」1972 年、270×341cm
- 「エロイエロイラマサバクタニ又は死篇」1980 年、70×8500cm
- 谷川雁「おれは砲兵」1976 年、68×86cm
- 「もしおれが死んだら世界は和解してくれと書いた詩人が逝った——追悼吉本隆明」2012 年、60×95cm
- 「『ヨーロッパ』の戦争のさなかに」2023 年、95×60cm
- 「河東碧梧桐一〇九句選」109 点 2022 年、24×34cm

*主な後期【状況篇】展示作品画像と説明は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/situation/> をご覧ください

「石川九楊大全」公式サイト <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/>
「石川九楊大全」PR サイト <https://www.artpr.jp/prs/ishikawakyuyoh-taizen2024>
公式 Instagram https://www.instagram.com/ishikawakyuyoh_taizen/
公式 x (旧 twitter) https://twitter.com/kyuyoh_taizen

主 催 石川九楊大全実行委員会
日本経済新聞社
上野の森美術館

協賛 株式会社思文閣
サントリーホールディングス株式会社
八海醸造株式会社
三洋化成工業株式会社
笠原健治(株式会社 MIXI ファウンダー)
株式会社グラフィック
株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ
株式会社モリサワ
キンキダンボール株式会社
吉田浩一郎(株式会社クラウドワークス)
株式会社サンエムカラー
大塚オーミ陶業株式会社
カモ井加工紙株式会社
京都精華大学

協力 株式会社ほぼ日
株式会社竹尾
株式会社ミネルヴァ書房
株式会社左右社
市之倉さかづき美術館
文字文明研究所

「石川九楊大全」展覧会入場料 当日券 一般・大・高生 2,000 円 前売券 1,800 円

- 【古典篇】6月8日～6月30日【状況篇】7月3日～7月28日 それぞれに入場券が必要です
- お得な「セット券」(2枚で3,000円。前売のみ・数量限定。)

【販売先】

公式チケット ARTPASS <https://art-ap.passes.jp/user/e/ishikawakyuyoh-taizen>
電子チケット「アソビュー！」<https://www.asoview.com/channel/tickets/FbO1TMxSyD/>
電子チケット「スマチケ」<https://eplus.jp/ishikawakyuyoh-taizen-sumaticke/>

【各種プレイガイド】

*チケット・販売先・プレイガイド等の最新情報・詳細は、
「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/tannisho-no18/> をご覧ください

【資料 2】

■「石川九楊大全」関連イベント

◎音楽会

タイトル:「石川九楊大全」展 開催記念コンサート

書譜楽(しょふがく)「歎異抄 No.18 “いはんや悪人をや”」

日時:2024 年 6 月 14 日(金)18:00 開演 (17:30 開場)

会場:旧東京音楽学校奏楽堂 東京都台東区上野公演 8-43

演奏:電子音楽奏(スコット・アレン) 弦楽四重奏(カルテット・オリーブ)

書家・石川九楊の代表作『歎異抄 No.18』に書き込まれた一点一画を、計測・解析・数値化した音データを用いた楽曲を、「電子音楽奏」と「弦楽四重奏」により演奏します。

石川九楊とスコット・アレンによる解説付き「書は音楽である」を立証するコンサートです。

チケット:一般 3,000 円 学生 2,500 円(全席自由・税込)

予約サイト:

東京コンサーツ オンラインチケットサービス <https://www.confetti-web.com/detail.php?tid=76990&>

電話予約 0120-240-540 カンフェティチケットセンター(受付時間: 平日 10:00～18:00)

お問い合わせ:03-3200-9755 東京コンサーツ(平日 10:00～18:00)

※チケット・販売先・プレイガイド等の最新情報・詳細は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/tannisho-no18/> をご覧ください。

◎講演会

タイトル:「石川九楊大全」展 開催記念講演会「書は文学である」

日時:2024 年 7 月 7 日(日)18:00 開演 (17:30 開場)

会場:上野精養軒 桜の間

「筆蝕=書きぶり」を緻密にたどれば、「書は文学」であることが解る——「筆蝕論」の総仕上げと位置付けられた自著『悪筆論』(芸術新聞社)を引用。川端康成、太宰治、三島由紀夫などの揮毫や原稿の筆蝕の一点一画が、その文学作品をいかに雄弁に物語るか。秘密を解き明かします。

チケット 一般:2,000 円

【チケット取扱】チケットぴあ(Pコード 653-124)、ローソンチケット(Lコード 31934)、イープラス

各販売サイトおよびプレイガイド、コンビニ店頭にてお求めください。

※チケット・販売先・プレイガイド等の最新情報・詳細は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/lecture/> をご覧ください。

●カタログレゾネ 「石川九楊全作品集(全三冊 附別冊)」

若き日の実験的作品群から、日本・中国・西欧古典、そして時代を告発する現代の自作詩文作品にいたる、厳選した約 2000 点の作品を余すところなく紹介する全作品集は 2024 年夏出版予定です。

※限定 500 部 価格:200,000 円(税別)

※石川九楊の受賞歴、作品、作品集、著書、編著等プロフィール詳細は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/overview/> をご覧ください。

以上